

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0870500410		
法人名	医療法人社団	正信会	ユニット名( 東棟 )
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	茨城県石岡市東府中 1-10		
自己評価作成日	令和 2 年 6 月 25 日	評価結果市町村受理日	令和 2 年 9 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500410-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500410-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 いばらき社会福祉サポート
所在地	水戸市大工町1-2-3 トモスミとビル4階
訪問調査日	令和2年8月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>下肢筋力低下防止の為、毎日の施設内散歩を歌にあわせて歩く 又、「コグニサイズ」を取り入れている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は幹線道路から入った場所に位置し、徒歩圏内に病院やコンビニ、スーパーなどがあり、日々散歩したり、買い物に出かけるなど、利用者が気分転換をしながら地域で暮らせるという安心感を実感している。医療法人美野里病院を母体とし、関連施設が多数有り、お互い連携を図っている。24時間365日医療サポート体制を支援しており、利用者や家族、職員の安心に繋がっている。管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り何でも話せる関係を築くなど、風通しの良い働きやすい職場環境づくりに努めている。職員同士も信頼関係を築いている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえ、職員全員が理念の再確認をし、共有している	理念を各ユニットやトイレに掲示するとともに、朝の申し送り時に唱和して確認している。事業所と地域の関係性を重視しており、地域で暮らせる安心感を実感できるように支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者の多くは地域との日常的なつながりは、この数ヶ月の間コロナウイルス感染が心配され密の接触はできず窓越しで手を振り挨拶を交わすようにしている	コロナウイルス感染予防対策のため地域住民とは窓越しに手を振り挨拶。野菜の差し入れをいただいたり、地域住民と交流に努めている。法人系列の中高生の体験学習を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は、地域密着型の研修会に参加し、認知症の理解や声かけなどの方法を学び、地域の人々に活かしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会議を2ヶ月に1回行い、情報交換をし、事業所の取り組みや、身体拘束について意見交換をし、サービス向上に活かしている	定期的に開催し、身体拘束について意見を交わし、身体拘束適正化検討委員会としても行っている。商工会議所の職員もメンバーにあり、地域の情報が早く入ってくる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者職員と折りに触れ、相談出来るよう協力関係が取れるよう取り組みしている	2ヶ月に1回の地域密着型サービス事業所協議会に参加し、情報交換をしている。生活保護受給者についての相談や問い合わせ、介護保険の更新時に行政の窓口を訪問し、協力関係作りに努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が拘束について話し合い利用者が穏やかに暮して行けるよう取り組んでいる	身体拘束適正化検討委員会を3ヶ月1回以上運営推進会議時に行い、話し合いをしているが、指針やマニュアルを作成したり、職員研修を行うまでには至っていない。	身体拘束排除に関するマニュアルを作成し、それを基に職員研修を年2回以上開催することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止を学び理解し職員ひとり一人が意識を持って虐待防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は自立支援事業や成年後見制度について必要性のある場合において活用できるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時利用者家族に納得頂けるよう、十分な説明をし、理解が得られよう図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の面会時には利用者の状況・様子を報告したり、意見要望を聴く機会を作り質の向上に活かしている	重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明示し、面会時や電話連絡時に家族から直接意見を聴くよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員同士日常のミーティングや月1回のカンファレンス時に意見交換をしながら職員の反映できるよう努めている	普段から何でも話せる関係が築かれている。職員からの意見を取り入れ、毎日の体操にコグニサイズを取り入れ、認知症予防につなげたり、トイレの手すりを増設した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員同士勤務状況を把握し、改善に向けひとり一人が取り組んでいる		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員は勤務状況に合わせ支障のない限り、研修会等に参加し知識や技術を身に付けるように努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に出来る限り参加し、他施設の活動状況を学び、交流を持ち質の向上につなげている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の話を良く聞き、不安なく安心して生活して頂くために信頼関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族とは入居時までの様子や苦勞・不安・要望には耳を傾けながら、関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者家族が必要としていることを見極め、可能な限り対応の努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常利用者と職員が共に過ごし人生の先輩の話を聞いたり今の状況をお話する事でコミュニケーションを取り関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族様に日頃の様子や体調変化などを伝え情報を共有、関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や馴染みの人が来所された時、居室で気兼ねなく話ができるよう努めている	入居時の聴き取りや家族等からの情報、日々の会話の中から把握し、職員間で共有している。面会者にお茶を出してゆっくり話ができるよう配慮したり、利用者の思いを家族等に伝え家族等が同行して外出、買い物や外食に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の悩みや心配事に耳を傾け生活送れるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が他施設等に移られた後でも関係性を大切に必要に応じた支援に努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との関わりを深め希望や思いを把握し意志疎通が困難な場合はその人の行動により、把握できるよう努めている	入居時の聴き取りで知りえた事を記録に残し、日々のケアを通じて知りえたことも職員で共有して本人の希望や要望に沿った支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中から利用者に関わりを持ち生活歴やこれまでの暮らし方等を知り生活が送れる様支援していく		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活において利用者ひとり一人の状態や行動に注意を払い無理なく生活できるよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族等の意向を聴き職員全員で意見交換をし介護計画を作成している	家族等の意見を聴き、チェックポイントシートを作成して職員間で話し合い計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、基本3年で見直しを行っているが、要望や状態に変化があれば随時見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活において体調の変化や生活状況等気づいた事を記録し職員間情報交換をしながら、介護計画の見直しをしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の家族にその時々柔軟な対応ができるよう多機能化にとり組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して暮せるよう各方面から協力仰ぎながら楽しみながら生活できるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に外来受診、6か月に1回健康診断、訪問診療もしている、又他医療機関には家族対応で協力してもらってます	医療法人が母体の為、24時間の医療体制が整っている。医師には状況を口頭で伝えているが、特に変化がある場合はバイタル表と状態を書いたメモを渡している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中で気づいた事や体調の変化を看護師に伝え、相談し利用者が適切に受診が受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には協力医療機関の医師や看護師に伝え、情報交換や相談をし、出来る限りまめに面会に行き関係づくりをしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者が重度化した場合や終末期を迎えた時は、対応方針を家族と話し合い理解を得ている	契約時に利用者や家族等に重度化や終末期、看取りに関する説明をしている。「重度化・看取りに関する説明及び同意書」があり、状況の変化に応じた繰り返しの話し合いと、段階的な合意を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時には全ての職員が初期対応や応急手当の意識を持ち実践できるよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時には年に2回消防訓練を行い、昼夜問わず利用者が避難できるよう全職員が訓練を年に2回行っている	避難訓練を年2回行っているが夜間を想定した訓練等を行うまでには至っていない。また訓練の記録を残すまでには至っていない。近隣住民へは運営推進会議の際に協力の呼びかけを行っている。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、実施記録を作成し、課題について話し合い記録に残し次回の訓練に活かすことを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は利用者ひとり一人の思いお尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう、言葉かけをして、対応している	個人情報に関する同意書を整備し、家族等に説明し同意を得ている。人権尊重や守秘義務については研修を行い、理解を深めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で声かけや話し相手になり、利用者が思いを表現できるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の流れの中で本人の望んでいることやその人のペースに沿って無理のない生活が送れるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望に沿って衣類や身の回りの物を選んで頂いている。散髪も自分の希望に沿ってカットしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	静かな音楽を流し利用者と一緒に食事をしている又、食事後の片付けやテーブル拭きなどできる範囲で職員と行っている	法人が献立を立て、食材を配給し、事業所の職員が調理し食事を提供している。利用者は食事の下膳やテーブル拭きなど、できることを手伝っている。職員は利用者と一緒に同じ物を食卓を囲んで食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事と水分量が確保できているか確認し記録している又、禁食や好みにも対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者のペースい合わせて口腔ケアお行い毎日義歯洗浄剤を使用し清潔保持に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し職員間で情報交換をしながら必要な利用者には声かけや誘導を行っている。おおむね自立している方には失敗無く排泄できるよう支援している	利用者の排泄パターンを把握して誘導し、夜間も含めてトイレでの排泄に努めている。夜間でも3ユニットで紙おむつの利用は少数で、紙おむつから布パンツになった利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常の食事摂取や水分量の確保、日課の体操や運動を取り入れ予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者ひとり一人が本人のペースでゆっくり入浴できるよう支援している	入浴は基本週2回午前中となっているが、利用者の意向にそっていつでも入れるよう支援している。季節を楽しむためにゆず湯を実施している。状況によって足浴や清拭にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりが自分に合った生活リズムで休憩をしたり安心して眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりがどのような薬を飲んでいるか職員が理解し誤薬のないよう服薬介助に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	余暇活動や屋外散歩、外出行事、食事会などに誘い、気分転換等の支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年はコロナウィルスで外出行事、食事会も難しく室内でのコミュニケーションにて支援しています	隣接する病院の遊歩道を車椅子の利用者も一緒に毎日のように散歩している。市のバスやタクシーを利用して買い物や外食などの外出支援を行っている。法人の車を使用して季節の花見などに出かけている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物の依頼があればその方に応じて預かり金から購入している。少しでも満足が得られるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な方に希望があれば電話や手紙を出せるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が居心地良く過ごせるよう生活感や季節感を採り入れ明るさや温度の配慮をし、安心感のある場所作りを工夫している	廊下は広く、手摺も設置され、壁には絵画や利用者と職員で制作した作品が掲示されるなど、ゆったりとした落ち着いた空間になっている。食堂兼居間は小上がりの畳スペースと長椅子が設置されており、利用者の各々の場所が決まっています、お互い尊重しながら寛いでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室は個室になっており、自分の時間を自由に使い、ホールではテレビを観たり利用者同士雑談して過せるよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に本人が使い慣れた物や馴染みの物を置き落ち着いて生活できるよう工夫している	居室には洗面台が設置され、身だしなみや歯磨きなど自分でできるように工夫されている。寝具や筆筒、テレビなど、自宅で使い慣れたものを持ち込んでもらえるように話をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて自立した生活が送れるよう物の配置や目印になる物を置き自由に生活が送れるよう工夫している、廊下や通路には障害物を無くし、通行の妨げないよう配慮している。		

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 令和 2年 9月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束排除に関するマニュアルを作成し、それを基に職員研修を2回以上開催することを期待する	毎日の利用者との生活の中でもう一度原点に戻り、ひとつひとつ職員と共に話し合っていく。	マニュアルをもう一度見直し、職員と共に話し合い内部研修を実施する。	12ヶ月
2	35	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに実施記録を作成し、課題について話し合い 記録に残し次回の訓練に活かす事に期待する	夜間想定なのだから3人で避難させてみて、どのような問題が出てくるか、その問題について話し合い今後に活かしていく。	夜間想定避難訓練は実施しているが、誰が見てもわかるような実施記録を作成する。 避難訓練で問題があった場合はきちんと記録に残すようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号の欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。